

平成30年度
行政職員のためのNPO理解講座
NPOの特徴や他組織との違い、NPOの活動資金を取り巻く状況、NPOと協働するためのポイントなどを事例を交えて学びます。
●日 時 5月16日(水) 13:30～15:30
●場 所 宮城県庁1階 みやぎ広報室
●講 師 大久保朝江(認定NPO法人社の伝言板ゆるる代表理事/みやぎNPOプラザ館長)
●対 象 宮城県や県内市町村のNPO・市民活動団体担当部署職員およびNPOについて理解を深めたい行政職員など
●定 員 80名(先着順)
●参加費 無料

NPOのためのマネジメント講座
人間関係のトラブルを防ぐしくみづくり講座
活動に関わる人々がミッション達成のために力を発揮できるよう、人に関するトラブルを未然に防ぐポイントや、その仕組みづくりを学びます。
●日 時 6月29日(金) 14:00～16:00
●場 所 みやぎNPOプラザ 第2会議室
●講 師 富樫敦子さん(特定社会保険労務士)
●対 象 NPO・市民活動団体の代表、役員、スタッフ、メンバーなど
●定 員 20名(先着順)
●参加費 800円(税込)

NPOのための会計・税務講座
基礎から学ぼう！
NPO・市民活動団体のための会計初級講座
会計の考え方から、帳簿の付け方、伝票の整理方法など、会計・経理担当者が最低限知っておきたい会計の基礎知識を分かりやすく学びます。
●日 時 5月25日(金) 13:30～16:30
●場 所 みやぎNPOプラザ 第2会議室
●講 師 小野恵子さん(会計サポーター)
●対 象 NPO・市民活動団体の会計初任者、会計を再確認したい方、これから担当する方など
●定 員 20名(先着順)
●参加費 1,000円(税込)

みやぎNPOプラザレストラン開店！！
『福幸食堂えしかる』
みやぎNPOプラザの貸しレストランスペースに、新しい運営団体、NPO法人水守の郷・セケ宿が入り、4月13日にオープンしました。
【メニュー】
●ほぼ日替わり松花堂弁当(1,000円)
●温かいうどん(650円)
「海鮮（ほや）かき揚げワカメうどん」
●冷たいうどん(各650円)
「ぶっかけワカメうどんサラダ風」「冷やしニセザルうどん」
●夜の部 晩酌セット(1,000円)
日本酒またはビール1杯とお惣菜3品
TEL:090-8617-1016

NPOのための専門相談
●相談対応：郷野 元之さん(弁護士)
お悩みを抱えている、また、トラブルを未然に防ぎたいとお考えの皆さまに弁護士が適切にアドバイスします。
●相談対応：NPO運営アドバイザー
設立運営相談（※無料）→毎週水曜日
NPOの設立や法人申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをいたします。
●相談対応：大久保 朝江(みやぎNPOプラザ館長)他
認定NPO法人申請相談→随時
認定NPO法人制度の基礎、申請に向けての基準や申請書類の確認など、段階にあわせてご相談に応じます。

■新規のNPO法人認証団体(H30.2.11～H30.4.10)

	団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等	石巻アーカイブ	石巻市	石巻地方の歴史的文化醸成と歴史的資料の継承に寄与する事業	2/20
	River Aid Japan	富谷市	カンボジア王国での水上スポーツの普及を支援する活動	2/27
	ハッピースワン	大河原町	イベント事業でまちづくりの推進を図る	4/6

宮城県のNPO法人数 821団体 (平成30年4月10日現在)
宮城県等所轄：409団体 仙台市所轄：412団体
※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

One to One
2018.5 vol.103
発行日 2018年5月1日
発行 宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
発行部数 3,000部
編集 認定特定非営利活動法人社の伝言板ゆるる
編集スタッフ 堀川晴代 後藤和広 丹野伶菜
【お問合せ】
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp
「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。

ひととひとを
むすぶ情報紙
みやぎNPOプラザ情報
2018.5 vol.103
One to One

平成29年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業

『復興』の先を考えるミーティングin仙台

— 成果報告会&交流会開催 —

3月15日(木)、せんだいメディアテーク1階のオープンスクエアを会場に、「『復興』の先を考えるミーティングin仙台」が開催されました。

東日本大震災から7年が経過しましたが、被災地では人口流出や住民の高齢化による地域の担い手不足などさまざまな課題が顕在化しており、沿岸部を中心に県内では多くのNPOが被災者支援・復興支援のための活動に取り組んでいます。そこで宮城県は、平成28年度から国の「NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援事業交付金」を活用し、県内の被災者の生活再建などに深く関わる住民・支援者・行政などの結びつきを強化する取り組みに、補助金を出しています。

■14団体が事業成果を報告

この日のミーティングでは、第1部として平成29年度にこの復興支援事業に採択された14団体が一堂に会し、1年間の事業の成果のほかに課題と展望について報告しました。

採択された団体の事業は、移動支援、就労支援、



▶NPOに関心を持つ市民も参加

教育支援、被災者の交流や居場所づくり支援など多岐に渡ります。報告では、補助金が終了した後も事業を継続するために、どのように資金を確保するかといった点が、多くの団体の共通課題としてあげられました。一方で、各団体の報告を受けて講評者からは、「被災地と外部の協力者の連携がうまくいっている」「住民の主体性を引き出し、地域の人材育成が進んでいる」など、今後の活躍に期待を寄せるコメントもあり、平成28年度から継続して事業採択された団体のなかには、2年間で団体と住民との信頼関係が深まり、団体の取り組みに住民が積極的に協力してくれるようになったなど、着実な事業の成果を実感することのできる報告も多くみられました。



◀パネル展示で活動紹介

また、会場には、団体紹介のパネルも設置され、パンフレットを手に取り、団体のスタッフに取り組みについて質問をする市民の姿も見られました。

宮城県では本年度も引き続き「宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」を実施します。



『復興』の先を考えるミーティングin仙台 「SDGsをキーワードに、今できることを考える」

I部の成果報告会に続き、II部では交流会が開催されました。NPOや企業、コミュニティ組織などがともに復興とその先の社会の在り方を考えることが目的です。

ミッションや活動が異なる組織がともに同じテーブルで語り合うためにまず学んだのが、「持続可能な開発目標」(SDGs)です。

■SDGsはセクターを超えた「共通言語」

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された、「持続可能な開発のためのグローバル目標」のことです。SDGsは「誰一人取り残さない」という理念のもとに、世界中の国々は貧困を終わらせ、すべての人に平等な機会が与えられ、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができる世界を目指す17の目標(ゴール)で構成されています。サミットでは各国が2030年までにこの目標を達成すべく努力することが約束されました。



▶セクターを超えた語りあい

交流会のはじめには、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク代表理事の黒田かをりさんが「SDGs視点で考える復興支援」と題して、情報提供をしました。SDGsが掲げる貧困撲滅、災害に強いまちづくり、地球温暖化の防止などの目標の多くは、社会課題の解決に取り組むNPOや市民活動団体にとっても以前から取り組んできた馴染み深いテーマばかりです。NPOや市民活動団体が自らのミッションをSDGsという世界の「共通言語」と重ね合わせることで、組織文化が異なる企業や行政にもNPOの取り組みの必要性を理解してもらえたり、協働を進められたり、活動に参画する仲間を増やすことにつながれるという利点があります。

交流会のはじめには、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク代表理事の黒田かをりさんが「SDGs視点で考える復興支援」と題して、情報提供をしました。SDGsが掲げる貧困撲滅、災害に強いまちづくり、地球温暖化の防止などの目標の多くは、社会課題の解決に取り組むNPOや市民活動団体にとっても以前から取り組んできた馴染み深いテーマばかりです。NPOや市民活動団体が自らのミッションをSDGsという世界の「共通言語」と重ね合わせることで、組織文化が異なる企業や行政にもNPOの取り組みの必要性を理解してもらえたり、協働を進められたり、活動に参画する仲間を増やすことにつながれるという利点があります。

■NPOと企業との協働

情報提供に続いて、「誰も取り残さない社会へ～NPOと企業の協働～」と題して、NPO法人ふうどばんく東北AGAINの小椋亘さんから事例が紹介されました。フードバンクとは、品質に問題が無くまだ食べられる状態の食品を企業や市民に寄付をしてもらい、それらを福祉施設や生活困窮者支援団体へ無償で届ける活動です。また、ふうどばんく東北AGAIN

は配送や事務に障害者が携わる、全国初のフードバンク活動を通じた障害者の就労支援の場でもあります。環境や貧困の問題、障害者支援にも取り組む三方よしのこの活動の全てが、まさにSDGsと合致します。この取り組みの意義が浸透し、市民や東北労働金庫、富谷市等の協力を得ながら食糧支援は年々増え続け、現在では年間15,000人に10トンの食糧支援をするまでに広がりました。

しかし、小椋さんは、未だ課題解決の途上のため、SDGsをキーワードに更に企業や市民に協力を広げて持続可能な社会づくりに貢献していきたいと語ります。

■SDGsでつながる

交流会の最後には、「復興の先をSDGsで考えよう」というテーマで、グループに分かれてそれぞれの活動や課題を語り合いました。そこで活躍したのが、SDGsの17のゴールをイラスト化したアイコンです。企業、行政、NPOなど異なる組織の人たちが初めて顔を会わせる場であっても、自分は何のどのゴールに関わる活動をしているのか、また、どのゴールに向かって取り組みたいと思うのかをアイコンを示しながら伝えることで、よりお互いを知ることができました。

参加者からは「NPOを取り巻く環境は未だ厳しいが、SDGsを活用して市民を活動に巻き込んでいきたい」「被災地に関わらず、地域が抱える課題は増える一方。多様な世代をつなぐツールとして使い、若い世代にも参画してもらいたい」といった意見がありました。

NPOが孤軍奮闘するより、セクターを超えた連携ができれば課題解決は加速します。交流会の最後は、SDGsを共通言語に、さらに宮城県内の協働を進めていこうと締めくくられました。



▲SDGsの17のゴール

仙台市市民活動サポートセンターがリニューアル -市民活動支援と協働推進の拠点に-

平成27年7月に施行された「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」において、仙台市市民活動サポートセンターは、従来の市民活動支援の機能に加え、多様な主体の協働によるまちづくりの推進の拠点として位置づけられました。これをうけ、多様なまちづくりの担い手が地域の課題やまちの魅力づくりに取り組んでいくための協働の拠点としての機能を充実させるべく、平成30年1月～2月にかけて、施設の改装が行われました。



▶マチノワひろば

施設の顔となる1階が、「マチノワひろば」として、情報発信と交流の拠点に生まれ変わりました。チラシ等、紙物中心の情報

発信に加え、入口の風除室には展示を通して情報発信ができる「マチノワギャラリー」を新設。広瀬通りを通行する人の目にも付きやすい場所で、市民活動のPRなどができます。「マチノワひろば」を使った交流イベントも予定しており、全面ホワイトボードになっている壁面は、プロジェクターの投影もできるようになっています。

5階のフリースペースは、目的に応じて使い分けができる空間にリニューアル。無料で使用できるモニターディスプレイや、落ち着いて会議をしたい団体向けに、ロールカーテンで仕切って半個室にできるテーブルも登場しました。

その他、7階の共同事務室なども、より快適な空間に改装しています。新しくなった仙台市市民活動サポートセンターをぜひご利用ください。

(仙台市市民活動サポートセンター
センター長 太田貴)



NPOの強い味方！

NPO法人のための 会計ソフト



NPO法人としての活動も軌道に乗り、事業数も増えてきて、そろそろ「帳簿を表計算ソフトや手書きで管理するのも大変になってきた」という団体にとって便利なのが「会計ソフト」です。しかし、NPO法人会計基準に準拠していて、NPO法人

独特の勘定科目などに対応しているソフトはそう多くないため、企業向けの会計ソフトを四苦八苦しながらアレンジして使用している団体も少なくありません。そこで、今回は、NPO法人会計基準に準拠している主な会計ソフトを紹介します。

◎N-books

<http://www.ascjp.com/apijapan/>
販売元：N-Books推進協議会

◎freee(フリー)

<https://www.freee.co.jp/houjin/npo/>
販売元：freee株式会社

◎会計王 NPO法人スタイル

https://www.sorimachi.co.jp/products_gyou/acn/
販売元：株式会社ソリマチ

N-booksとfreeeはクラウド型なので、IDとパスワードとインターネットに接続されたパソコンがあれば、どこでも作業ができます。料金は毎年かかりますが、会計担当者だけでなく、複数のパソコンから複数の目で見て、管理できることがメリットと言えます。

いずれも画面の見やすさや、入力のしやすさなど、人それぞれ好みがありますので、興味のある方は、まずは無料体験をしてみたいかがでしょうか？金額については、各販売元のHPもしくは、直接問合せの上、確認してください。

これは1台のパソコンのみにインストールでき、一度購入すれば、料金はそれ以上かかりませんが、会計基準などの変更に伴い、新しいバージョンが販売されることがあります。

その他、税務関連で疑問や悩みがある場合は、みやぎNPOプラザで開催している「NPOのための会計税務相談」をご活用ください！NPO会計に詳しい税理士がご相談をお受けします。